

地方創生交付金事業

PDCAサイクル進捗管理シート

・地域コミュニティ再生事業(H29)	P 1
・【参考】地域コミュニティ再生事業(H28)	P 2
・学びで結ぶ子育て支援事業(H29)	P 3
・【参考】地域コミュニティ再生事業(H28)	P 4

地方創生推進交付金(平成29年度事業)

	担当課評価	協議会評価	資料ページ	備考
地域コミュニティ再生事業				
<p>社会の中で皆と協働し地域課題を解決していける人材を育成する。小学校を核に、子どもの育ちを中心とした多世代交流を促進するとともに、子縁でつながる新たなコミュニティを創出し、子育てにやさしい活力ある地域社会の実現を図る</p>	B		1	
学びで結ぶ 子育て支援事業				
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報等をPCやスマートフォンで閲覧できる仕組みの構築とWEBサイトの運用 ・地域を知る学びのフレームづくりを行い、学校と協働し地域学習カリキュラムに反映する。地域に誇りと愛着を持ち地域づくりに貢献できる人材の育成を目指す 	B		3	

地方創生推進交付金 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	教育委員会
事業名	地域コミュニティ再生事業		
事業タイプ	横展開	事業分野	まちづくり コンパクトシティ、まちの賑わい創出
事業概要	社会の中で主体的に考え、皆と協働し地域社会の課題をより良く解決していける力を備えた人材を育成する。小学校を核に、子どもの育ちを中心とした多世代交流を促進するとともに、子縁でつながる新たなコミュニティを創出し、子育てにやさしい活力ある地域社会の実現を図る。		
【H29予算額:	5,423 千円】	【H29決算額:	5,370 千円】 見込【事業総額 14,914 千円】 見込
交付金対象経費内訳	地域プランナー謝金 2,394千円 学校運営協議会・学校支援地域本部消耗品費 100千円 郷土映像資料作成費 229千円 地域映像等資料購入 500千円 大活字本等購入 2,150千円 学校支援地域本部企画推進委員会会議費 50千円		

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項: 学校支援延べ人数							
		KPI : 1,650人 (H31年度)							
			基準値	28年度	29年度	30年度	31年度		備考
		数値	1,500人	1,530	1,560				
		達成率		20.0%	40.0%				
		②目標事項:							
KPI :									
	基準値	28年度	29年度	30年度	31年度		備考		
数値									
達成率									

平成 29 年度	評価 (C)	【29年度評価】 担当課評価 B コミュニティ・スクールや学校支援ボランティアについて、広報紙への掲載(3回)のほか保護者へ文書の配布や全戸へチラシを作製して配布し制度等の周知を行った。事業見直しによりボランティア参加延べ人数は減少したが登録者数は若干の増加となった。
	改善 (A)	【30年度における取り組みなど】 学校支援ボランティアの高齢化・固定化の傾向は依然として見られるため、広報紙への掲載やチラシの作成を継続して行い、制度や内容の理解を深め協力を得よう努めていく。また、学校支援ボランティアの登録が行いやすい環境づくりについて検討する。
	協議会意見	【評価に対する意見】 協議会評価

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標通りに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

地方創生推進交付金 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分	担当課	教育委員会
事業名	地域コミュニティ再生事業	
事業タイプ	横展開	事業分野 まちづくり コンパクトシティ、まちの賑わい創出
事業概要	社会の中で主体的に考え、皆と協働し地域社会の課題をより良く解決していける力を備えた人材を育成する。小学校を核に、子どもの育ちを中心とした多世代交流を促進するとともに、子縁でつながる新たなコミュニティを創出し、子育てにやさしい活力ある地域社会の実現を図る。	
【H28予算額:	5,252 千円】	【H28決算額: 5,203 千円】 見込 【事業総額 14,914 千円】 見込
交付金対象経費内訳	地域プランナー謝金 2,086千円 郷土映像資料作成費 355千円 地域映像等資料購入 500千円 大活字本等購入 2,150千円 消耗品費 112千円	

計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項: 学校支援延べ人数							
		KPI : 1,650人 (H31年度)							
			基準値	28年度	29年度	30年度	31年度		備考
		数値	1,500人	30					28年度 数値見込
		達成率		20.0					
		②目標事項:							
KPI :									
	基準値	28年度	29年度	30年度	31年度		備考		
数値							28年度 数値見込		
達成率									
平成 28 年度	評価 (C)	【28年度評価】							
		担当課 評価	コミュニティ・スクールや学校支援ボランティアについて制度や内容の周知を行い、ボランティアの増加を図るため広報紙や全戸配布するためのチラシを 作製した。これによりボランティアの増加が見られた。						
	B								
協議会意見	【29年度における取り組みなど】								
	依然として学校支援ボランティアの高齢化・固定化の傾向があるため、コミュニティ・スクールや学校支援ボランティアの制度や内容について周知を図り、住民の理解を深め協力を得るよう努めていく。								
【評価に対する意見】									
協議会 評価	次年度以降も交付金事業の継続実施を行うようだが、目標達成目指して推進してほしい。								
B									

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標通りに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

地方創生推進交付金 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 29 年度分		担当課	子育て支援課・教育委員会						
事業名		学びで結ぶ 子育て支援事業							
事業タイプ		横展開	事業分野	地方への人の流れ	移住促進・人材確保・育成				
事業概要		<p>・子育てに関する情報や学びの情報をPCやスマートフォンで簡単に閲覧でき、必要な情報を収集し学びの機会を創出することができる仕組みの構築とWEBサイトの運用を行う。</p> <p>・地域総ぐるみで地域を知る学びのフレームづくりを行い、学校と協働し地域学習カリキュラムに反映する。また、地域を学ぶ学習の成果は、子どもたちの感性で表現した地域資源としてARデータにより村内外へ情報発信していく。これら一連の活動を通じ、地域に誇りと愛着を持ち地域づくりに貢献できる人材の育成を目指す。</p>							
【H29予算額:		15,301 千円】	【H29決算額:	13,109 千円】	見込	【事業総額	15,159 千円】	見込	
交付金対象経費内訳		ふるさと学習推進協議会委員謝金 294千円 ふるさと学習推進協議会委員旅費 8千円 ふるさと学習消耗品費 69千円 ふるさと学習ARデータ作成委託料 3,456千円 子育てWEBサイト・アプリ導入費 9,282千円							
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項: 合計特殊出生率							
		KPI : 1.68 (H31年度)							
			基準値	28年度	29年度	30年度	31年度		備考
		数値	1.51		1.59				平成29年度見込数値
	達成率			47.1%					
		②目標事項:							
		KPI :							
			基準値	28年度	29年度	30年度	31年度		備考
		数値							
		達成率							
平成 29	評価 (C)	【29年度評価】							
		担当課評価	学校では、小学6年生が地域の宝をさがし、主体的で深い学びに発展させていくふるさと学習が行われ、学びの成果をARデータとして情報発信することとなった。また、ふるさと学習推進協議会では、教育課程の中に位置付けられる地域資源データについて充実をし、学校に提供していくことにした。 (教) 子育てアプリについては、計画どおり導入され運用が始まった。行政の子育て支援に関する情報を集約しサイトで、県や国の情報もサイトから検索できる仕組みにした。また、子どもの誕生日や出産予定日を入力すると対象となる情報が得られるお知らせサービス、相談場所や、医療機関、子どもの預け場所等の配信を行った。(子)						
	改善 (A)	【30年度における取り組みなど】							
		小学校では、引き続きふるさと学習を行い、ARデータを充実していく。また、ふるさとづくり推進協議会では、地域資源データの一層の充実を図る。 子育てアプリについては、情報内容を充実させ登録者の増大と利用促進を図る。							
	協議会意見	【評価に対する意見】							
		協議会評価							

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標通りに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

地方創生推進交付金 PDCAサイクル 進捗管理シート

平成 28 年度分		担当課		子育て支援課・教育委員会			
事業名	学びで結ぶ 子育て支援事業						
事業タイプ	横展開	事業分野	地方への人の流れ	移住促進・人材確保・育成			
事業概要	・子育てに関する情報や学びの情報をPCやスマートフォンで簡単に閲覧でき、必要な情報を収集し学びの機会を創出することができる仕組みの構築とWEBサイトの運用を行う。 ・地域総ぐるみで地域を知る学びのフレームづくりを行い、学校と協働し地域学習カリキュラムに反映する。また、地域を学ぶ学習の成果は、子どもたちの感性で表現した地域資源としてARデータにより村内外へ情報発信していく。これら一連の活動を通じ、地域に誇りと愛着を持ち地域づくりに貢献できる人材の育成を目指す。						
【H28予算額： 916 千円】		【H28決算額： 916 千円】 見込		【事業総額 16,769 千円】 見込			
交付金対象経費内訳	教育力向上推進協議会(ふるさと学習推進協議会)謝金 251千円 委員協議会出席旅費 9千円 消耗品費(コピー用紙・SDカード他) 56千円 アプリ導入準備費 450千円 子育てガイドブック作成準備費 150千円						
計画 (P) ↓ 実施 (D)	目標事項・進捗状況	①目標事項： 合計特殊出生率					
		KPI : 1.68 (H31年度)					
		基準値	28年度	29年度	30年度	31年度	備考
		数値	1.51	0			28年度 数値見込
達成率		-					
平成 28 年度	評価 (C)	【28年度評価】					
		担当課 評価	ふるさと学習推進協議会を設置し、地域資源を学ぶ仕組作りを進めている。				
		B	年度末まで会議を開催し、学びのフレームづくり行う予定である。今年度事業の進捗は、計画どおりであり、次年度の具体的作業につながる事業となっている。				
		【29年度における取り組みなど】					
協議会意見	協議会 評価	当初事業計画により具体的に作業を進め、子どもたちのふるさと学習カリキュラムを構築し、地域への帰属意識が高い人材の育成を図る。					
		B	【評価に対する意見】 学びの仕組みをどのように取り込んでいくか多くの課題がありそうだが、今後継続して実施していただきたい。 子育てアプリの本格稼働は次年度以降になるが、よい仕組みになるよう検討を続けてほしい。				

- A : 目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B : ほぼ目標通りに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C : 目標をやや下回っており要因の分析を要する。
- D : 目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E : 目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。